

# 今こそ知りたい情報モラル

## PART 1

### 昔話で情報モラルを確認



少し現代風になった「桃太郎」を読んで、情報モラルについて考えてみましょう。

情報を手に入れることも、発信することも簡単にできる現代。情報モラルを身につけておくことは、情報社会を安心して過ごすことにつながります。親子でその身につけ方を学んでいきましょう。



キジの行動にはどんな問題があるだろうか。親子で話し合ってみよう。(答えは次のページの下にあるよ。)

### 情報モラルって何だろう？

情報モラルとは、「情報社会で適正な活動を行うためのものとなる考え方と態度」のこと。学校でも情報モラルを学ぶ機会が設けられ、「自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと」や「危険回避など情報を正しく安全に利用できること」などが身につくよう、指導が行われています。



こちらのページでは、誰もが一度は聞いたことがあるであろう昔話「桃太郎」に、現代的な要素を加えました。物語の中で、キジは自分のことだけを考え、「フェイクニュース」とも言える動画を公開しています。わたしたちがふだん利用しているSNSなどのネット上にも、上手に加工され、本当のこのように伝えられているその情報があるかもしれません。たくさん情報があふれる現代では、それが本物であるかを確かめる力が必要です。

PART 2では、ふだんの生活の中で遭遇するかもしれない場面での、情報モラルに関するクイズを出題します。親子で確認し、自分たちの情報モラルを見直してみましょう。

**Q7**

親戚のおじさんから、SNSのダイレクトメッセージが届いた。おじさんに自分のアカウントの情報は教えていなかったはず。この連絡は無視したほうがよい。



**Q6**

飲食店で、友達とふざけて騒いでいる動画を撮った。SNSに投稿したけれど、友達しか知らないアカウントなので、問題ない。



**Q3**

近所で夏祭りが開かれ、その様子をドローンで撮影していた。すると、落下するかもしれないからと警察から注意を受けた。撮影したものをSNSなどに投稿するつもりがなければ、続けてもよい。



クイズで確認！  
**みんなの情報モラル**  
情報モラルに関する○×クイズが全部で7問あります。親子で一緒に挑戦してみてください。

**Q1**

友達と遊びに出かけ、写真を撮影した。二人ともかわいく撮れているので、友達に確認しなくてもその写真をSNSに投稿してもよい。



**Q4**

13歳未満（小学生以下）は、「TikTok」を利用できない。

**Q5**

SNS上で同じアイドルを応援している人と仲よくなった。年齢や住んでいる所が近かったため、「今度遊ぼうよ。」と誘われた。顔写真を送ってもらえば、会ってもよい。



**Q2**

大好きなアニメがある。みんなにも見てもらいたいと考え、購入したDVDの映像をSNSに載せてもよい。



【P.10-11の漫画の答え】キジは桃太郎に対して、動画を公開する確認をとっていない。また、うその内容を動画にしている。

クイズの答えは、次のページで確認しよう！

アンケートは、愛知県内の小中学校などで実施。身近な子どもたちの実態がつかめます。

コラム  
子どもにタブレットやスマホをいつ渡した？

	小学3年生	小学5年生	中学1年生
1位	親のものを貸している	小学校高学年(最近)から	小学校高学年から
2位	まだ渡していない	親のものを貸している	中学校入学から
3位	小学校中学年(最近)から	小学校中学年から	小学校中学年から

保護者のかたに、子どもにスマホやタブレットを渡した時期を尋ねると、上のような結果になりました。また、使用させている保護者に「家庭でのきまり」があるかときくと、ほとんどが「ある」とのことでした。その内容としては、時間や課金に関するものが多いようです。

アンケート対象者  
●小学3年生229人とその保護者159人  
●小学5年生204人とその保護者177人  
●中学1年生432人とその保護者225人

子どもにきいた!

## 使ったことのあるSNSランキング

1位 YouTube

2位 LINE

3位 TikTok



Q 子どもにききました。  
SNSを友達に勧めたいですか。



### 勧めたい理由

- おもしろい動画をみんなに紹介したい。(小3)
- SNSのトラブルに巻き込まれたり、巻き込まれたりしたくないから。(小5)
- SNSのトラブルに巻き込まれたり、巻き込まれたりしたくないから。(中1)
- スマホ依存症になるかもしれないから。(小5)
- 危険も多いから。(中1)

### 勧めたくない理由

- 長く使っていると目が悪くなったり、親に怒られたりするから。(小3)
- SNSのトラブルに巻き込まれたり、巻き込まれたりしたくないから。(小3)
- スマホ依存症になるかもしれないから。(小5)
- 危険も多いから。(中1)

アンケート結果に対する分析コメントは、ポイントを理解するための助けになります。

子どもたちに「SNSを友達に勧めたいか」を尋ねると、小3以外は「はい」と答えた子のほうが多くなりました。その理由として、友達と何かを共有したり、連絡をとったりできるからといったものがあげられています。特に小5以上では、スマホなどの機器をもつ子が増えるため、そういった傾向が強くなるのかもしれないかもしれません。また、中には吹奏楽部で発表する曲を検索して聴いたり、スポーツの技を動画で見たりするなどの使い方ができることを理由にしている子もいました。「いいえ」と答えた子からは、トラブルや依存症などの危険性を心配し、理由にあげる声が多くあります。そのため、特に中学生からは「使うことを押しつけない」「本人が決めればよい」といった回答が見られました。

## クイズの答えと解説

Q4



「TikTok」は若者に人気のSNSですが、13歳未満（小学生以下）は、ユーザーとしてアカウントをもつことができません。ただし、保護者の管理のもとでの使用は認められています。他のSNSでも、推奨年齢や年齢制限があります。一度確認してみてください。

Q1



写真に写っている本人の許可をもらわず、勝手にSNSなどのメディアに掲載することは、無断投稿になります。写真によっては撮影した場所などがわかり、知らない人に生活圏が特定される危険性もあります。

Q5



相手から顔写真や個人情報が送られてきたとしても、それは他の誰かがなりすましている可能性もあります。犯罪に巻き込まれるおそれもあるため、インターネットで知り合った人と会うのは避けたほうがよいでしょう。

Q2



自分で買った物でも、他人の著作物を無断でSNSなどに載せるのは、著作権の侵害になります。著作権は誰もがもっているもので、自分の作品を勝手に使ったり、コピーされたりしない権利のことです。アニメや漫画の無断転載、著作権侵害が大きな問題となっています。

Q6



SNSに投稿する際は、誰に見られてもいい内容か、しっかりと確認してください。そしてそもそも、お店や周囲のお客さんの迷惑になることはしないようにしましょう。迷惑行為は犯罪となる場合もあります。ふざけたり、その様子を撮影したりすることはせず、友達にもやめるよう伝えましょう。

Q3



SNSなどへの投稿に関係なく、注意を受けるような危険な行為は行わないようにしましょう。特にドローンは使用にあたって、さまざまな法律が定められています。法律や規則、条例などの法令を正しく理解して、それらに従って行動しましょう。

Q7



メッセージには、迷惑メッセージやウイルスメッセージなどの可能性があります。少しでも怪しいと思うことがある場合は、家族や本人に確かめるようにしましょう。

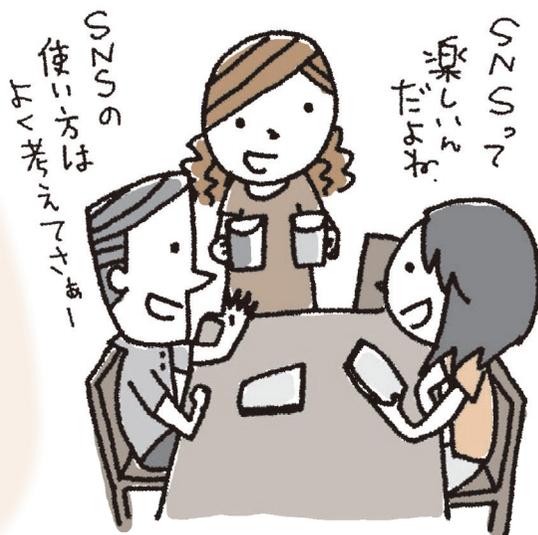


### 小学5年生

SNSは、知らない人からメッセージが届く可能性があるため、許可していません。SNSのメリットやデメリットを理解して使うことは、小学生には難しいと判断しています。

情報モラルに欠ける人は、日常生活でもモラルに欠けることが多いのかなと思っているので、ふだんの人間関係などから、子どもにいろいろなことを話しています。

高学年にもなると、親が全てを管理、監視することは難しいと思うので、なにげない発信で傷つく人がいるかもしれないことを、何度も話しています。



同じ立場の保護者の「生の声」は、子育ての参考になります。

### 小学3年生

以前、詐欺サイトにだまされ、ネット詐欺の被害に遭いました。その時の反省として、そのことを子どもたちに包み隠さず話して、見たことのない画面が出てきた時は、報告するように伝えています。

詐欺やネットに関する番組を一緒に見て、危険性などを話しています。

子どもはSNSの情報を信じこんでしまうので、「全てが正しい情報ではない」という話は常にしています。

保護者にきいた！  
わが家の情報モラル教育



### 中学1年生

SNSのアカウントを乗っ取られ、自分になりすまされて、知り合いに連絡をされたことがありました。それ以来、パスワードは強固なものにして、二重ロックをかけるようにしています。子どもにも、アカウント管理の大切さを伝えています。

面と向かって言えないことは、SNSなどに投稿しないよう伝えています。

うちの子はSNSはやっていないものの、SNSをやっている友達に悪口を書かれ、それを別の友達から聞いて落ち込んでいたことがありました。スマホやタブレットを持ってなくてもトラブルに巻き込まれる可能性があることに驚きました。



言葉は簡単に、人を傷つけてしまうことを子どもに教えています。子どもが何かを発信する時は必ずわたしもチェックをし、見た人にとって不快なものになっていないかを親子で再確認しています。

情報をうのみにせず、自ら調べる力をつけるように伝えています。また、世の中の情報は、必ず誰かが作った言葉のため、それを精査するアンテナを張るように話しています。

一度ネットにあげたものは本人が削除しても消えないと考えて、個人が特定されるものは絶対載せないこと、友達があげようとしても断るように伝えています。

世界を見渡すと、デジタル先進国のデンマークでは、校内でのスマホ使用を制限しているところがあります。アメリカ・カリフォルニア州でも、子どものメンタルヘルスに有害だという指摘から同様の動きがあるようです。オーストラリアでは、十六歳未満の子どものSNSの利用を禁止という法案が近年可決されました。ほとんどの家庭で、何かしらの制限・きまりなどを定めて電子機器やSNSを利用させていると思いますが、どの段階で子どもの自主性に任せていくかを見定めることが重要なかもしれません。

次のページでは、さまざまな制約や条件のもと、自分らしくSNSを活用している小学生とその親御さんを紹介いたします。

情報モラルについて、家庭ではどのようなことを伝えていくかを、保護者のかたに尋ねました。アンケートの回答からは、それぞれの家庭でSNSなどを利用することにあたって必要だと考えることを伝えていくのがわかります。中には、保護者自身がトラブルに巻き込まれた経験があり、同じことが起こらないようその反省を子どもに伝えているといった声も見られました。

また、「現段階ではSNSは使わせない」などの制限をつけながら、電子機器を使用させているという意見も多く見られます。段階に応じて、子どもたちの情報モラルを育んでいこうと考えている家庭は多いようです。

## わが家の情報モラルお約束カード

1

2

3

これから電子機器やSNSを使っていく中で、どのようなことに気をつけていきたいと思いませんか。今回の特集を読んで、特に感じたことを親子で話し合ってみてください。その後、記入例を参考にしながら、上の「わが家の情報モラルお約束カード」に記入してみましょう。

また、情報モラルやSNSアプリについて学べるサイトを紹介しています。こちらも親子で確認してみてください。

### 記入例

#### わが家の情報モラルお約束カード

- 1 友達と撮った写真を、勝手にSNSに投稿しません。
- 2 SNS上で知り合った相手とは、絶対に会ったりしません。
- 3 ネットで知った情報は、うのみにしません。

文部科学省  
「情報モラル学習サイト」



SMA J  
一般社団法人 ソーシャルメディア  
利用環境整備機構  
「安心・安全の取り組み」



名古屋市教育センター  
「情報モラル啓発資料」



毎月のテーマに合わせて、具体的な事例紹介やチェックリスト、専門家のアドバイスなど、さまざまな切り口で考えます。

## SNSを安全に楽しんでいる

### 親子にインタビュー！

Q なぜSNSで動画投稿をしているの？

A メイクに興味があるの。いろんな人のサイトを見ると、とっても勉強になるんだよ。

Q SNSを友達に勧めたい？

A 勧めたい！ 友達が増えるし、おもしろい動画が子どもでも撮れるから。

Q ネット上のトラブルに巻き込まれたことはある？

A ないよ。だって、お母さんがちゃんと管理してくれてるもん。

Yちゃんのお母さん

小学5年生  
Yちゃん

Q 情報モラルについて、ご家庭で話題にしますか？

A ニュースを見ている時など、教えておかなければならないことは考えさせています。

Q フィルタリングはかけていますか？

A もちろんです。わが家では、初めから強制です。

Q 動画を投稿すると、怪しい人からのコメントがきたりしませんか？

A わたしが幾つか撮影した動画を一緒に選んで投稿していますが、見た人からDMがきたり、コメントが入ったりしますね。本人に任せているとうれしくてなんでも答えてしまうので、怪しいかどうかは親が判断します。怪しい人は気をつけるように話して、ブロックします。友達だけが入れる安全なグループで、おしゃべりをするようにさせています。

Q SNSで動画投稿を始めたきっかけは何でしたか？

A 娘が小学3年生の頃に、インターネットに興味をもちました。わたしたちが子どもの頃、ダンスが上手になりたい、お化粧ってどうやるの……と感じて、雑誌やテレビで情報を集めたのと同じです。今はネット上で、特にSNSには情報がたくさんあるんです。自分で撮影した動画を応募して、コギャルオーディションも受けられます。

# 令和8年度「子とともに ゆう&ゆう」 特集テーマ

「子とともに ゆう&ゆう」では、毎月、子どもを取り巻く問題を取り上げて特集ページを掲載しています。アンケートのデータ、親や子どもの生の声、専門家からのアドバイスなど、いろいろな角度から考えていきます。

※内容は変更になることがあります。

## テーマ

## ねらい

4月 趣味の力でリフレッシュ！

子どもも大人も今、どんな趣味をもっている？  
ストレス解消や自己成長をもたらす「趣味の力」を大調査！

5月 AIなるほどQ&A

急速に普及しつつあるAI。  
その便利さと注意点を確認し、適切な使い方を親子で学ぼう。

6月 子どもを支える言葉かけガイド

子どもが落ち込んだ時、自信をなくした時、親はどんな言葉をかけたなら？  
先輩保護者の成功・失敗談から考えます。

7月 将来役立つ！ わが家の食育

将来、健康的な食生活を送れる大人になるには、子どものうちから食育を！  
各家庭の実践を紹介。



8月 子育てはやっぱり楽しい！

創刊850号記念特集

大変なことも多い子育て。でも、素敵なお時間もいっぱい。  
これまでの日々を振り返り、親の喜びを分かち合おう。

9月 災害発生、最初はどうする？

もしも災害が起きてしまったら、まず何をすれば？  
災害別の対応を再確認し、家族の命を守るために。



10月 地域で育つ子どもたち

子どもは地域全体で育てていきたいもの。  
実情を知り、地域活動へ一歩踏み出すきっかけに。

11月 読書が好きな子・苦手な子

本を読む子と読まない子の傾向は二極化しているといわれる。  
子どもたちの声から、本への親しみ方を考えよう。



12月 冬に負けない！ あったか大作戦

「衣食住」の観点から、身近な寒さ対策をご紹介します。  
親子で冬を元気に乗りきろう。

1月 見つめよう、家族時間

親も子ども忙しい毎日。家族の時間をどう過ごしている？  
各家庭の「大切にしたい時間」を見つめます。

2月 子どもの心に耳をすませて

ときに荒れる子どもたちの心。  
生活習慣や言葉づかいの乱れなど、注意すべきサインとは何か。

3月 ドキドキ新学期、準備はOK？

新学年への期待の反面、新しい環境に不安もちょっぴり。  
そんな親子を応援します！

